



2026年 本屋大賞

全国の書店員の投票で
選ばれた**ベスト10**

2024年12月～2025年11月に刊行された
日本人作家の小説の中で、
書店員自身が自分で読んで、
いちばんお勧めしたいと思った作品です。

Supported by

NOLTY[®]

手帳ブランドNOLTY[ノルティ]は
本屋大賞を応援しています。

大賞

『イン・ザ・メガチャーチ』

朝井リョウ (日経BP 日本経済新聞出版)

- | | | |
|-----|---------------|-----------------|
| 2位 | 『熟柿』 | 佐藤正午 (KADOKAWA) |
| 3位 | 『PRIZE—プライズ—』 | 村山由佳 (文藝春秋) |
| 4位 | 『エピクロスの処方箋』 | 夏川草介 (水鈴社) |
| 5位 | 『暁星』 | 湊かなえ (双葉社) |
| 6位 | 『殺し屋の営業術』 | 野宮有 (講談社) |
| 7位 | 『ありが』 | 瀬尾まいこ (水鈴社) |
| 8位 | 『探偵小石は恋しない』 | 森バジル (小学館) |
| 9位 | 『失われた貌』 | 櫻田智也 (新潮社) |
| 10位 | 『さよならジャバウォック』 | 伊坂幸太郎 (双葉社) |